



# ぼらんていあ通信

No.425

2017年4月25日

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: [sagamiva@feel.ocn.ne.jp](mailto:sagamiva@feel.ocn.ne.jp) <http://sagamiva.wordpress.com/>

市民桜まつりに  
参加しました!



第44回相模原市民桜まつり



## 福祉バザー

バザー会場はけやき体育館。事務局員さんやボランティアさんたちが売り込みに忙しくしている。昨日は天気が一つだったのにもっと忙しかったわね、とボランティアさんの話。事務用品のファイル、封筒など3点で100円と、手作りのステキな布袋300円とお皿を100円で買って大満足で帰りました。(小林)



## 市民パレードに参加!

桜まつり2日目は、お天気にも恵まれ、協会の看板を掲げパレードに参加。大勢の市民の皆さんにハンディキャブ活動をアピールしました。



## ふくし・ふれあいブース

けやき会館の駐車場でボランティアさんが今年は甘酒に挑戦。桜まつりにはうってつけですね。いつものコーヒーはどうしたんですかとブースにいた町田さんに質問。「電気を取り込むのに費用がかかるんでね」とのこと。たまこんにやくもあって一串に5ヶでした。違うブースで早々と買ってしまった私のたまこんにやくには3ヶしかない。早まったわね!と皆んなで大笑い。(小林)



桜まつりで皆様から寄せられた寄付などは今後の協会の事業に活かされます。今年は、昨年よりバザー用品の提供も多く、皆様のご協力、本当にありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。



## ボランティアさん募集

歩行困難者の車での外出支援(病院等への送り迎え)のお手伝いをしてくださる方を募集しています。あなたの好意と少しの時間お借りできませんか? お気軽にお電話を下さい。

NPO法人 相模原ボランティア協会 TEL・FAX 042-759-7982

part2・3

平成二十八年度ボランティア入門講座  
。傾聴ボランティアを学ぶ！

第一回目

一月二十四日(金)午後一時半

市民会館 階第二大会議室

講師は荒木利根子先生。傾聴の技法の続きのロールプレイです。

傾聴カウンセリングの技法

\*繰り返して・明確化・要約・支持について  
聴き手は、話し手のことばの中からキーワードを見つけて内容の要約をし、話のポイントを繰り返すことで話し手の鏡の役割をする。聴き手が話し手の鏡になることで話し手が自分の心を客観視し気持ちを促される。

(先生のよば)繰り返すというのは難しいですよね。聴き手の方はしっかりと聴いていないと要約もできず、明確にもできません。繰り返しまで行くには十分に話を聴くことが大切なのです。九十九%聴くことに徹してください。

\*十分に話を聴いたうえで「提案・助言」  
あくまでも話し手が自分で答えを出すように促し出した自己決定を尊重する。

(先生のよば)他人の悩みに簡単に助言できるものではないですね。なせなら、同じ経験というものはないので。人それぞれの経験を十分に聴いてあげないと気持ちの整理ができません。話し手が大事です。助言をした場合は「このように思われませんか？」と問いかけ



て「今、一番気がかかるのは・・・GJ(吉野)と確認までしていただくね。

ロールプレイで傾聴を疑似体験する

話し手、聴き手、観覧者の三人一組になって、順番に役割を演じます。

ロールプレイを観て、一回目は二回目

一回目よりは二回目と聞くと理解が深まって行くのが分かります。一回目の戸惑いが二回目と比べ、二回目では役割が各人それぞれになるのです。勿論聴き手の役割が一番難しいので、何度もやっていくというんですね。二十三名の受講生の皆さん、とても意欲的でした。

(小林)



第二回目

三月三日(金)午後一時半

傾聴ボランティアを体験する



今回は二十三名が出席して実際の活動の体験を中心に行われた。荒木先生の講義を一回受けた方たちは三人一組で行うロールプレイ体験もスムーズに行われた。相手をよく知るというのが目的なので話し手は夢中になって聴かれていないことをしゃべりすぎないように注意がある実習開始。

全員が聴き手、話し手、観覧者の役を体験したあと気付いた点や感想を発表した。

- ◆間の取り方が難しかった
- ◆相手のことがよくわかった
- ◆あいづちが難しい
- ◆マイナスの話はプラスにするのは?
- ◆出身地や趣味など話しやすい事から聞くとよかったです
- ◆しゃべると

すむのかな ◆はげましを感じた、また聴き手が最も難しかったという感想が多かった。

会話はすすんでいるグループが多く、特に聴き手の方の笑顔で話し手に向かう姿勢が相手の緊張をほぐして話しやすさを引き出していたように感じた。

傾聴活動をやっていく方からの体験談から

★高橋さん...高齢の認知症の女性宅へ通って十年余、百二十一回訪問した。故郷の事や幼い頃の事から入ると話が広がっていった。訪問を待つといくべからず。

★日高さん...活動するときは相手のあつちまを受け入れ、心の声を聴く心がけています。相手が心を開いてからは楽しい。

★山田さん...昨年講座を受け活動に参加。認知症の方のお宅へ月一回訪問しています。

最後にボランティア協会、社会福祉協議会いるかバンクなどの活動紹介があり、数名の方がさっそく協会に登録された。(二十尾)

クイズに挑戦

今年には桜が長い間楽しめましたね。桜クイズです。①日本で最も多い桜の種類はソメイヨシノですが、それは何時ころ国内に広まったのでしょうか?

- ア昭和時代 ①大正時代 ②明治時代 ③江戸時代
- ④桜は植物としては何科に分類されるのでしょうか?
- アニ科 ②バラ科 ③ミカン科 ④アヤキ科
- ③二〇一七年の桜の開花は、どの都市が一番早かった?
- ア福岡市 ①大阪市 ②松山市 ③東京
- ④桜の開花に影響するのは次のどれでょうか?
- ア一月から開花までの気温 ①三月の気温
- ア二月の降水量 ②三月の湿度

\*答えを探してみね!



ボランティア活動グループ訪問記



「星が丘地区いこいの広場」  
赤ちゃんから高齢者まで  
みなだにも参加できます

市内の桜が咲き始め、今週末には市民桜まつりが開かれます。でも三月二十六日(日)は朝から冷たい雨が降り、真冬の寒さです。星が丘公民館で毎月一回開かれている「星が丘地区いこいの広場」に小林さんと一緒に参加しました。地域情報紙で住民にお知らせがあり、公民館ロビーにもチラシが貼ってあって誰でも参加できます。趣味の「コーナー」、軽食・喫茶コーナーがあります。



いこいの広場 実行委員のみなさん

玄関前に「お友だちづくり・おしゃべり 星が丘地区いこいの広場」の看板が出ていて、一歩中へ入ると二階からカリーのよい香りが漂ってきました。十時から趣味のコーナーが始まり、十数名の方が折り紙の先生に教わって鶴を折っていました。甲羅が丸へんくろんでいる立体作品です。難かしそう。折る鶴と並べたらいいわね、という声が聞こえてきました。料理実習室の入口にのれん、テーブルに水仙とキンカンの実



美味しいランチで話も盛り上がります～

が入って来られます。「毎回趣味のコーナーを楽しみにしていて、ここでお友だちになったんです」とおっしゃる方、「一人でも公民館なので参加しやすいですね」「初めて寄ってみました」。誰でも参加しやすい雰囲気を感じられました。

地元の市議会議員さんも毎回参加されるそうです。日曜日なので参加しやすいと話されています。

星が丘地区いこいの広場実行委員会代表の鈴木末廣さんにお話を伺いました。福祉コミュニケーション形成事業として実施して二年目を迎えました。横山と千代田でも開催していますが、星が丘では大人も子供もあつめる世代が交流できる憩いの場にしたという思いから日曜開催に決めたそうです。この会場は星が丘小学校、子どもセンターに隣接しているのでサッカーの帰りに寄ったり、親子での参加も多くなっています。わが広報委員の杉崎さんも最初から携わっています。実行委員七名と数名の



代表の鈴木さん

時間店です。折り紙を仕上げた人他の用事で公民館に来た人など、常連さんや初めての人の六、七名の小学生のグループや親子連れとさまざまな年代の方が次々と

ボランティアがおそいのエプロンに「こまの」(社協のキャラクター)のマスコット(杉崎さん手作りの)を胸につけて参加者を迎えてくれました。カレーもお汁粉もとてもおいしかったです。こちらこそありがとうございました。次回のお知らせ(四月二十三日)をもらい、心もからだもほっこり温かくなって公民館を後にしました。(小林・三十尾)



連絡先 星が丘公民館内  
星が丘地区社会福祉協議会  
電話 〇四二七五五一九九五

5月の記念日は?

小倉義男

5月18日、ベビーブームの日です。日付は5と18で「子がいっぱい」と読む語呂合わせから。子供を産みたい人が安心して子供を産める社会の実現を目指してさまざまな活動を行っている「第3次ベビーブームプロジェクト推進委員会」が制定。そこには、お父さんとお母さんの愛、そして子供たちの笑顔でいっぱいの日本になればとの願いが込められているそうです。子どもは宝ですね。o^^o

小倉画



クイズの答え

- ①は①の明治時代
- ②は②のパパ科
- ③は③の東京(東京は三月二十一日・福岡は二十五日・松山と大阪は三十日)
- ④は④の二月から開花までの気温



梅のつぼみ

「この梅をお借りして」

理事 小野 明雄

以前のつぼみでも同じことを書きました。そして今回も「この場をお借りして」市民桜まつりでの皆様のご協力に感謝しております。ありがとうございます。

今は満開になった桜も当日は一分咲き位だったでしょうか。「寒さも桜が満開なら許せた」と思われたのは私だけではないでしょうか。

ボラ協としての活動だけでなく、会員の皆様がそれぞれの地域、グループで活動されている姿をみる事ができました。

桜の咲くこの時期、私にはもう一つ楽しみにしていることがあります。体育館前の植え込みにある四本の「ドウダンツツジ」の花です。今年もかわいい花をつけ始めました。ドウダンツツジは生垣として植えられ、丸く刈り込まれているのが殆どです。この四本のドウダンツツジが刈り込まれず、のびのびと枝を伸ばし、きれいに花を咲かせるのはこの体育館を管理される方の好みなのではと勝手に想像しています。そしていつまでもこの姿でいてほしいと思っています。

私の家の小さな庭にも一本のドウダンツツジがあります。同じように花を咲かせたいと刈り込みを止めて三年目、今年は花盛りのです。ドウダン君も自分らしく咲くことができていることでしょうか。

千代田と星が丘の間の村富線は「ユリノキ」の並木です。白合に似た花をつけるのでこの名が付けられています。が、街路樹ですから定期的に剪定されて花を見ることは出来ません。

ハンディキャップ運行での待機場所に使う町田の版画美術館前には「ユリノキ」が植えられ、次の春まで枝に残る実も楽しめます。種の落ち方が面白いのです。残念だけど村富線のユリノキは街路樹だから仕方がないか

と思っています。

本日の姿(自然樹形)にしておくのは、事情により難しいことですが、街路樹にはやらすと剪定しなくてもよい樹木を植えてほしいと思います。弥栄と上溝の間のケヤキ並木も「ヤマボウシ」になりました。

正会員の皆様へ

通達総会の案内

一〇一七年度の通達総会を次の通り開催します。開催通知と議案書は後日お届けしますが、出席いただきますよう、ご予定ください。

- 日時 五月二十一日(日)午後二時～四時
- 会場 あじさい会館六階展示室
- 議事
  - ①事業報告
  - ②会計報告
  - ③役員選出
  - ④定款変更
  - ⑤事業計画案
  - ⑥予算案

※年に一度の大切な総会です。是非ご出席ください。

理事一同

ボランティア協会 5月のよてい

日	時間	内容
9(火)	14時～	講座検討委員会
11(木)	14時～	新旧理事顔合せ会 黄色いレシート キャンペーン
13(土)	13時～	事務局委員会
20(土)	10時～	HC委員会
21(日)	14時～	総会 理事懇談会
26(金)	13時	ぼら通印刷
30(火)	13時	ぼら通発送

理事会報告

四月五日(水) 十五時から(理事七名) 委員会報告

◆情報戦略委員会  
ホームページ改修計画は進展に向けて進行。わくわくの協力企業は六社となった。

◆ハンディキャップ委員会  
南区でハンディキャップの講座を開く計画が進行。ドライバー、介助ボランティア同士の交流を図る親睦会を計画する。

◆総合企画委員会  
総会に向けた検討を実施。

◆事務局委員会  
協会の新リーフレットが完成した。

◆ハンディキャップ関連の帳票類を改訂した。

◆講座検討委員会  
初日にボランティア活動に携わっている人によるパネルディスカッションを計画。

◆役員選出管理委員会  
役員選挙の結果を確認した。

◆審議事項  
次年度の新規車両購入に関する事項を審議、決定した。

◆今年度予算執行状況、2017年度の予算案が会長より説明があり、議論された。

◆相模原市福祉まちづくり推進協議会の委員は勝部氏継続とする。

◆役員選出管理委員会より「選挙管理規程」の改訂が提案され承認された。

◆その他  
イオン「黄色いレシートキャンペーン」の途中結果では昨年度比増額されている。  
桜まつり結果概要  
\*バザー、模擬店共に期待以上の収益が得られた。皆様の協力に感謝。  
\*パレードは不手際で参加者に迷惑をかけた。

イベント情報

ひとひと悩みを抱え込まないで「ほっとタイム」

開催日・場所

- ①緑区会場 五月十五日(月) 六月五日(月) 七月一日(土) 緑区合同庁舎 一階 高齢者交流室
- ②中央区会場 五月十日(水) 六月十日(土) 七月十一日(火) 市民会館 四階 第五小会議室
- ③南区会場 五月八日(月) 六月六日(火) 七月十日(月) 南保健福祉センター 二階 情報交換ルーム

内容

介護にお困りの方、介護にお悩みの方等、誰でも参加できます。「ほっとタイム」で話すだけでも何か対策がみつかるかもしれません!

毎月(緑、中央、南)の三区で開催。お気軽にご連絡・お問い合わせください。

問合せ・申込

中央ボランティアセンター 電話:042・7866・6181 友知草の会 土田 恵津子 電話:080・5694・4257

相模原市内5月のイベント情報 (市商業観光課HPより抜粋)

〇いづまのり〜和田の里交流祭

開催日時 五月三日(水)〜五日(金) 午前十時から午後四時 開催場所 和田バス停周辺(緑区佐野川)

〇相模の大風まつり

開催日時 (大風揚げは風の状態による) 五月四日(木)・五日(金) 午前十時から午後四時

開催場所 相模川新磯地区河川敷会場

①新戸会場 (新戸スポーツ広場)

②勝坂会場 (新戸スポーツ広場)

③下磯部会場 (磯部頭首下流)

④上磯部会場 (二段の滝下広場)

〇クレマチスフェア

開催日時 五月六日(土)・七日(日) 午前九時から午後三時まで 開催場所 相模原麻溝公園 (南区麻溝口三二七)

〇藤野のろくろ陶器市

開催日時 五月二十日(土)・二十一日(日) 午前十時から午後五時 開催場所 藤野地区交差点

〇菊のついで講習会

開催日時 五月二十一日(日) 午前九時半から十一時半まで 開催場所 市民会館 第二大会議室 申込

相模原市商業観光課へ五月十八日迄

電話042・769・8236

定員六十名(受付順) 受講料は無料

主催 相模原親菊会 会費 石黒

電話042・773・3854

式典さがみのの?

弊社は平成元年に設立をしまして、地域の皆様に支えられ「感謝の心」、「奉仕の心」、「謙虚な心」を社訓に創業30周年目を迎えようとしております。

近年の冠婚葬祭への価値観は時代と共に変化しており、ご家族がお求めになる形式も多様な時代となっております。

そんな時代において、ご家族の皆様が安心してお見送り出来るように、ご家族様それぞれのお気持ちを真摯に受け止めて誠心誠意サポートをさせていただきます。

また、万一の時に必要となる葬儀費用を少額保険でご準備出来る保険等も取り扱っております。

葬儀に関する事や、生花造花の発注、ご仏壇や墓石等、一般の方ではなかなか知りえない情報とネットワークを持って、ご相談にお応えさせていただきます。

営業内容

葬儀全般、霊柩自動車、寝台車、慶弔生花、花環、果物籠、仕出し、引出物、仏壇仏具、霊園墓地、介護用品のご紹介、その他

相模原市で活躍する会社紹介 葬祭総合センター 有限会社 式典 さがみの



神田隆吾さん

代表取締役 神田邦義さん (かんだくによし) 総務部長 神田隆吾さん (34歳) (かんだりゅうご) (公社)相模原青年会議所 常任理事 住所:相模原市南区大野台6-3-40 電話 042-751-0404 FAX 042-751-4033 URL; http://www.sagamino-s.co.jp E-Mail;sougi@sagamino-s.co.jp ベル少額短期保険 正規代理店

葬儀保険「千の風」

15才から80才10か月までお申し込みが出来て、99才まで更新をする事が出来ます。例:50才から69才の方で月々2,000円の保険料で100万円が保障されます。医師の診断も必要ありません(告知書審査) 詳細は是非、弊社担当者までご連絡をお願いいたします。

# 昨年度(2016年度)の主なトピックス・出来事

ハンディキャップをいきなり

新たに運転者6名、介助者1名登録

ハンディキャブ事業の登録更新と、利用料金改定の申請

南地区でハンディキャブ関係者交流会

ハンディキャブ規程・会則・案内等の改訂

6つの中学校の福祉体験学習に参加



相模原市民桜まつりのパレードに参加

ボランティア養成講座の基礎講座・コース別講座

相武台団地フリーマーケットで運転者募集

ボランティアセミナーと傾聴活動入門講座で運転者募集

ひとし みやかわ  
山本仁様、宮河良一様ご逝去



ふ るい アルバ ム めくりー

「う」など沖繩にまつわる四曲に  
取り組み大好評でした。  
認知症予防にも効果のあるオ  
カリナ。皆さんも始めませんか。  
我が家でもデュエットで楽し  
たいものです。ちなみに昨年か  
ら妻がハンディキャブの介助  
者として登録しており、こちら  
もデュエットで頑張ろうと思  
います。

オカリナは吹き方が簡単なこともあり、中高年の間でブームとなっており、生涯学習として取り組んでいるグループもあるようです。私たちの仲間も少し違い、若くて「沖繩がベースにある」ということ。沖繩好きの人が集まり演奏には三線(さんしん)が加わります。三月の演奏会では「涙(なだ)こそそ

う」など沖繩にまつわる四曲に  
取り組み大好評でした。  
認知症予防にも効果のあるオ  
カリナ。皆さんも始めませんか。  
我が家でもデュエットで楽し  
たいものです。ちなみに昨年か  
ら妻がハンディキャブの介助  
者として登録しており、こちら  
もデュエットで頑張ろうと思  
います。

仲間

デュエットで頑張る

白倉 健一  
びはくけんいち

## お知らせ

### 国認定運転者講習

新たに、当協会の移送援助活動(ハンディキャブ活動)に参加を希望される方は、この「運転者講習」の修了資格が必要です。受講費用の助成制度を利用できます。下記の連絡先までお電話を。

国土交通省認定

#### 福祉有償運送セダン等運転者講習の

**ご案内** (主催者団体の募集広告より抜粋)

<日時>

6月3日(土)及び4日(日)  
10時~16時30分

<場所>

大和市保健福祉センター4階 講習室  
大和市鶴間1-31-7  
(小田急江ノ島線「鶴間」駅より徒歩7分)

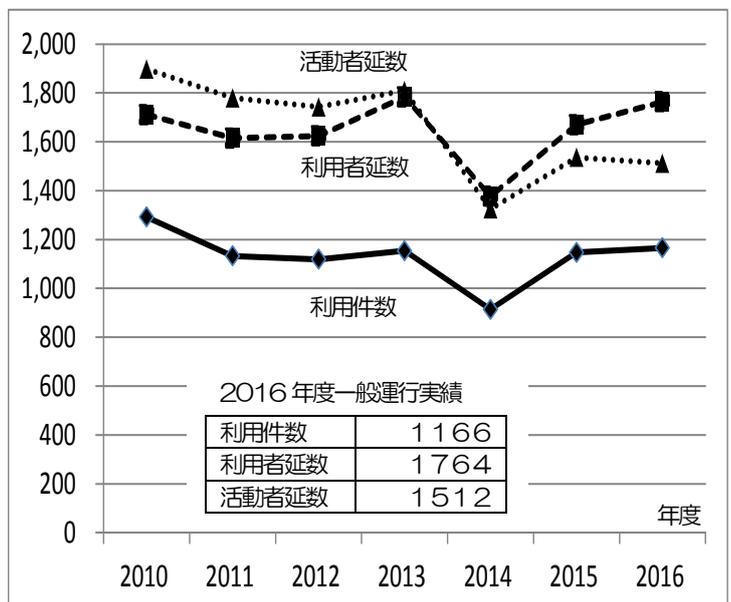
連絡先:ハンディキャブ委員 井上  
042-715-0989

## 運行実績

### 2016年度の運行実績

昨年度の運行実績がまとまりましたので、お知らせします。ご確認ください。

なお、セダン運行(運転者の自家用車を使用して行う運行)での利用件数の割合は33.7%でした。



## 地区社会福祉協議会 活動紹介 VOL5

“地域にある福祉課題を発見し、みんなで共有し、解決していく”  
「福祉コミュニティ形成事業」等の各地区の取り組み

### 交流・仲間づくりの場の充実、福祉活動の担い手作り

#### 小山地区社会福祉協議会 長谷川澄男会長



地域の困りごとをみんなで考え、解決する仕組みをつくらうと、地域で活動している方や団体から課題を聞き取り、取組みを検討したところ、「みんなが集まれる場所」「困りごとを相談できる場所」が必要とのことで一致しました。

★平成 29 年 1 月 1 日現在  
人口 20,481 人  
高齢化率（65 歳以上） 20.9%  
年少人口率（14 歳以下） 12.8%

そこで、公民館を拠点に“憩いの場”「ほっとほっとカフェ」を月 1 回スタート。毎回 40 名ほどの方々が気軽に集い、美味しいコーヒーと会話を楽しんでいます。また、毎週火曜日に高齢者支援センターのスペースで「困りごと相談」を行い、スタッフが困っている方からの相談に応じ、必要な情報を提供したり、ボランティアの紹介などに取組んでいます。



### 福祉活動の担い手づくり

#### 清新地区社会福祉協議会 山口敏夫 会長



家具の組み立て

「ゴミ出しが大変」、「新聞や雑誌を束ねることができなくなった」、「庭の草が伸びてきて気になる」など日常生活のちょっとした困りごと。この困り事を助け合って解決できたらもっと住みよい地区になるだろう・・・という願いから、地域の登録ボランティアの仕組み「ちょこっとボランティアくらぶ」を実施しています。

★平成 29 年 1 月 1 日現在  
人口 30,190 人  
高齢化率（65 歳以上） 19.7%  
年少人口率（14 歳以下） 11.9%

登録ボランティアは 32 人。活動も延べ約 80 件になり、高齢者や障がいのある方のさまざまな困りごとのお手伝いをしています。昨年からは、くらぶのメンバーが専用電話で相談を受け、週 1 回ボランティアを決める話し合いをすることになりました。そこでは「〇丁目にはボランティアの△△さんがいるよ!」、少し専門的なことでも「□□さんは電気関係に詳しいよ!」等と人材情報が飛び交い、地域密着だから可能な調整方法を進めています。



電球の交換

# ボランティアさん募集!

## ～ デイサービスセンターの外出補助 ～



内 容 高齢者デイサービスセンターで、公園散策へ行く際の付添い  
 依頼施設 チャオデイサービスセンター (中央区相模原 4-7-14)  
 日 時 5月8日(月)、9日(火)、10日(水)、11日(木)、12日(金)  
 午後2時～3時で、都合の良い日  
 活動場所 鹿沼公園(中央区鹿沼台 2-15-1)  
 集合場所 鹿沼公園駐車場  
 ※動きやすい服装



連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982  
 相模原市社協 中央ボランティアセンター: 電話 042 (786) 6181

あじさい連絡所移転のお知らせ(再掲)  
 当協会あじさい連絡所は、三月末にあじさい会館一階へ移転しました。

《2月のイラスト》

…ひん、きれいなったかなー!



### 二〇一七年度役員

#### 立候補者七氏全員の信任

去る三月四日、役員選出管理委員会は一月に行われた信任投票の開票を行った。結果は立候補者七氏全員の信任を確認した。

会員数二八名、投票総数六十二票、投票率五二、五パーセント、無効票〇票

役員選出管理委員会

### 訃報

長年、ほらんていあ通信の印刷のお手伝いをしてくださっていた森山伊那雄(いなのお)さんが、過日逝去されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

### Twitter Part2

## ほらんていあ通信版 ツイッターコーナー

和田雅代

話は脱線するが我が家のVも『理科で遊ぼう会』での出前授業や『おもちゃDr』のメンバーとしてボランティア活動に動んでいるが、二つとも趣味の延長らしい出かける時は前日からウキウキしているのを感じる次第だ。でも本人曰く『自分出来ることで社会に貢献している』と会での出来事を自慢げに話してくれる。結果として喜んでくれる方々がいるのは大事なことなんだと思っこのころにしているが。

訳の分からない答弁を繰り返す大臣や教育関係者の報道が連日繰り返されているが、世界中から認められている国民の勤勉さや優しさ、綺麗な心根は彼ら政治家の努力によるものではなく元々人に備わっていたのだらう。正にボランティア活動の精神その物が生み出した結果なんだろうと想う昨今である。相模原ボランティア協会の輪が広がることを切に願うものである。

### 編集後記

全国にセンテナリアン(百歳以上の人が三万人以上いる)が。

そのうち、ボランティアする人もおられる人も、センテナリアンという時代がやってくるかも…… (山)

